

道德の「教科化」に向けて

平成30年度に小学校新学習指導要領が本格実施されます。中学校においては平成31年度から本格実施されます。

「心輝け 子どもたち!」では、道德に関わる部分についてのポイントを順次、紹介していきます。今回は、小学校学習指導要領の中の第1章、総則からの抜粋です。

第1章 総則

第1 教育課程編成の一般方針

☆ポイント

学校教育活動全体を通じて行う道德教育の目標については、児童生徒の道德性を養う趣旨が明確にされました。

第1の2(目標)《一部抜粋》

道德教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる**道德性を養うことを目標とする。**

第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

☆ポイント

配慮事項として、いじめ問題への対応、家庭や地域との連携の強化等が盛り込まれました。

3 道德教育を進めるに当たっては、次の事項に配慮するものとする。《一部抜粋》

(2) 各学校においては…各学年を通じて、自立心や自律性、生命を尊重する心や**他者を思いやる心を育てる**ことに留意すること。…

(3) …道德教育の指導内容が児童の日常生活に生かされるようにすること。その際、**いじめの防止や安全の確保等にも資する**こととなるよう留意すること。

(4) …**家庭や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりする**など…相互の連携を図ること。

※ 次号では、「特別の教科 道德」についてご紹介します。

「人権週間に活用できる道德資料」～絵本～

絵本には、道德性を養う内容のものがたくさんあります。中心資料として扱う以外に、最後に読み聞かせを行って、余韻を残すという使い方もあります。

次の絵本は、小学生だけでなく、中学生にも、いろいろなことを考えさせられる絵本です。

<障害について考える絵本>

「さっちゃんのまほうのて」
「ありがとう、フォルカーせんせい」
「わたしの妹は耳がきこえません」
「どんなかんじかなあ」

<いじめについて考える絵本>

「わたしのせいじゃないーせきにんについて」
「わたしのいもうと」「しらんぷり」

<その他>

「にんげんごみばこ」(大事なものはゆるすこと)

インターネットで調べても、様々な絵本が紹介されています。子どもの実態にぴったりの1冊を、書店や図書館で探してみたいかがでしょうか。



「いじめ防止教育プログラム」

平成26年3月 名古屋市教育委員会 発行

平成26年3月に名古屋市教育委員会は、「いじめの未然防止」の視点から、道德や特別活動における授業展開例を「いじめ防止教育プログラム」としてまとめました。その中の道德の授業について紹介します。人権週間に活用してみたいかがでしょう。

小学校1～3年生 《主題 友達を思いやる心》

「考えの違いを理解する場」を設定し、自分と友達との考えの違いに目を向けるようにする授業です。その中で、相手の気持ちを考えることの大切さに気付くようにします。

小学校4～6年生 《主題 違いをこえて》

自分と友達に違いがある時、相手を否定的に捉えがちになることに気付かせ、時としてそれが軽率な行動につながり、結果的に相手を深く傷つける場合があることについて考えさせるようにします。

中学校 《主題 生命尊重》

2時間完了で扱う授業です。1時間目にゲストティーチャーの話を聞かせ、2時間目にゲストティーチャーの話を想起させながら精一杯生きることについて話し合わせ、命の尊さを感じ取らせます。

※ 冊子の他に、授業の様子を収録したDVDも各学校に配布されています。是非、ご活用ください。

道德Q&A ～実際にお尋ねがあった質問から～

Q. どうしても国語の読み取りのようになってしまします。

A. 文章に書かれていない気持ちに注目させると効果的です。
「主人公はドキドキした。」と書かれていたら、「主人公はどんな気持ちでしたか。」ではなく、「ドキドキしたのはどうしてでしょう。」と発問してみてもいいでしょうか。

Q. 問題行動があったとき、道德の授業で指導しても間接的すぎて伝わりません。どうしたらいいですか。

A. 道德の授業は、教育課程に沿って計画的に行ってください。問題行動への指導は、授業とは別の場で言う方がよいと思います。道德の時間には、子どもたちも、よりよい生き方を考えられるようにしたいものです。

Q. あまり望ましくない意見が出たとき、困ってしまします。理由を聞いてもいいですか。

A. どうしてそう考えたのか、理由をしっかりと発言させるとよいと思います。子どもの発言の真意は、授業のねらいに沿っていることもあるので、子どもの考えの根拠が見えてくるように、「なぜ、そう思ったの?」のように問い返しの発問をしていくとよいと思います。

ひと工夫で変わる

道德の授業を目指して!

10月6日(火)に、授業づくり研究部会の授業研究が行われました。北区楠西小学校にて、6年1組の子どもたちが担任の中西伸久先生と、生きることの大切さについて考えました。道德の授業にひと工夫を加えて、より魅力あふれる授業にしようと指導計画を立てました。活

道德の時間のねらいを明確にして、効果的なひと工夫を取り入れた道德の時間をつくる研究をしています

用した資料は、明るい心6年(県教振)「星への手紙」です。授業では、次の四つの工夫を取り入れた道德の時間を組み立てました。

- ① 考える意欲を高めるための導入
- ② 話し合いのねらいを明確にするための工夫
- ③ 話し合いの内容を焦点化させるための工夫

④ 児童の意識の変化を感じ取るための発問
その結果、子どもたちは、生きることが周りの人の喜びになることを感じ取ることができました。授業後には研究協議会が行われ、授業に取り入れた四つの工夫の効果や課題について話し合われました。詳しい内容は、研究発表会で発表します。



資料「星への手紙」の母や看護士の少年に対する思いを発表する様子